

美方陸上部大躍進 個人種目10名出場 女子4×400R 18年ぶり北信越の舞台へ



MIKATA
Koukou
Shimbun

五月三十一日から六月二日に9・98スタジアムにて春季総体陸上競技が行われた。今大会で上位六位に入賞した選手が北信越大会に出場することができる。美方高校からは八種目十人と一チームが北信越大会への出場権を獲得した。

初日に行われた一五〇m男子には家光応輔、西出仁亮、大同悠生が、女子では名里奏夢、仲村日和、水沼桃香が出場し、どちらも二名が北信越出場を決めた。

二日目の三〇〇m障害には西野寛太郎、飛永一樹、辻惇生が出場した。西野は序盤からハイペースでレースを引っ張り、二位と十七秒差をつけて圧勝した。レースを振り返って西野は「北信越を



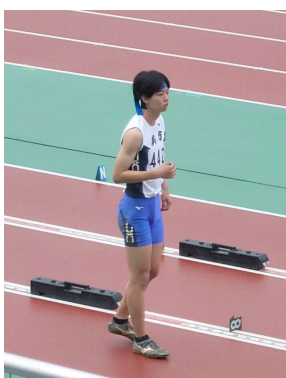
独走する西野



共に入賞を狙う

〇〇mには名里、仲村、正津乙桜が出場した。仲村は「ずっと目標としていた九分台を出すことができて嬉しい。中盤にペースを刻めるという自分の強みを生かしてレースをすることができた。北信越ではレベルが上がるけれど、焦らず自分のペースができるように頑張りたい」と話した。

長距離顧問の堀先生は「良くも悪くも現状通りの結果だった。改めて練習が大事だと思う」と大会を振り返った。また、北信越出場選手に向けて「調子を上げてきている選手が多いので、自己記録更新を目指して頑



緊張の跳躍前

張ってほしい」と話した。男子走り幅跳びでは大塩飛玖が五位に入賞した。大塩は「緊張もあったが、自己ベストを更新し、入賞することができて嬉しい。北信越ではさらに記録を伸ばして入賞を狙えるよう全力で挑みたい」と意気込んだ。

短距離顧問の中内先生は「競技面だけでなく内面的な成長を感じた。マイルリレーでは駅伝部の力も借り、美方高校陸上部全体で勝利を掴むことができて感動した。北信越では自分の力を精一杯出し切って頑張った。また次の代に向けて「もっと体力をつけて日常生活の基本的なことから頑張ってもらいたい」と期待を寄せた。

短距離男子キャプテンの川嶋大吾さんは「競技面では良い結果を残せなかったし、そのほかの面でも周りをを見て行動することができていてチームの成長を感じた」と大会を振り返った。また、後輩に

向けて「つらいことがあっても挫けず、励ましあって成長してほしい」と話した。

女子キャプテンの魚見莉央さんは「陸上は個人戦が多いけれど応援しあってみんなで一緒に戦えた」と話し、後輩に向けて「これから暑くなるけれど前向きに頑張ってほしい。応援しています！」とエールを送った。

【北信越出場者】

〈男子〉

一五〇m 家光応輔

二位 西出仁亮

五〇〇m 西出仁亮

二位 西出仁亮

五位 家光応輔

三〇〇m 障害 西野寛太郎

一位 飛永一樹

四位 辻惇生

六位 辻惇生

走り幅跳び 大塩飛玖

五位 大塩飛玖

一五〇m 名里奏夢

二位 仲村日和

四位 仲村日和

三〇〇m 仲村日和

三位 名里奏夢

五位 正津乙桜

六位 正津乙桜

四×四〇〇mリレー 佐近、水沼、藤田、魚見

六位 佐近、水沼、藤田、魚見

やり投げ 佐近優那

四位 佐近優那

テニス部 仲間と繋ぐ 連携プレー

六月五日〜七日、わかばコートで硬式テニス競技が行われた。団体戦初戦は勝山高校。ダブルスとシングルスを終え一で一で迎えた最終戦。善戦するも勝ちきれず、二回戦進出はならなかった。個人戦ダブルスでは三年生ペアがベスト16の結果を残した。キャプテンの青池羽音さんは「大会

では緊張していたが、今まで教えていただいた事をやり切ることができた」と大会を振り返った。また、「練習メニュー作りなど大変だけど、みんなならきつと強くなれると信じているので頑張つて



喜びを分かち合う二人

ほしい。最高の部活だった。ありがとう！」とエールを送った。顧問の深見先生は「いつもより強い相手に普段以上の力を出すことができて、みんな最後まで粘つていて良かった。これから一つでも多くの試合で勝てるように力をつけてほしい」と語った。試合中では部員やコーチなどの大きな声援がプレーをしている選手の助けになっていた。試合後には、お互い励ましあう仲のいい姿が見られた。

卓球部 不撓不屈 次世代へつなぐ

六月四日から七日に福岡県営体育館にて春季総体卓球競技が行われた。初日の男子団体戦、一回戦の相手は藤島高校。第一試合で岩田がストレート勝ちし、チームに勢いをつけた。第二試合は惜しくも落としたが、続く第三試合のダブルスでは、山路・岡ペアが巧みなコンビネーションで勝利を掴んだ。第四試合も山路

がその実力を発揮して勝利を決め、三一一で見事二回戦進出を果たした。二回戦の相手は、強豪敦賀高校。第一試合は粘り強くポイントを重ねたが敗北。第二試合は一ゲームを先取するも惜しくも敗れ、第三試合のダブルスも善戦したものの一歩及ばず、〇―三で惜敗した。女子団体の一回戦、武生商工戦では、第一試合で野口が接戦を制し、チームに貴重な一勝をもたらした。そのまま勢いに乗り、第二試合では木村がストレート勝ち。第三試合は相手に譲ったが、第四試合で田邊がしっかりと勝ち切り、三一一で三回戦進出を決めた。三回戦の武生高校。シングルスで田邊が、ダブルスで木村・田邊ペアがそれぞれ勝利を収め、二勝を挙げたが、チームは二―三の僅差で敗れた。



緊張の一瞬

バレー部 一つのボールに 思いを込めて

六月五日〜七日、武生東高校で春季総体バレーボール競技が行われた。一日目は予選リーグ

二日目の決勝トーナメントでは金津高校と対戦した。一セット目は初めに点を取られたものの、攻めの攻撃で逆転し、一セットを取った。その後、二セット目を取られ、フ

ルセットまで持ち込んだが三セット目に二十一対二十五の接戦で惜しくも敗れた。顧問の東山先生は「練習通りにいけば金津高校に勝てる力は十分にあつたので敗れてしまつて残念。もう一勝見たかった」と語った。新チームに向け「良い伝統を引き継ぎさらに自分たちの良さを発揮できるチームになってほしい」と期待を込めた。

援してくださりありがとうございました」と語り、新チームに向け「これから楽しいことだけでなく苦しいこともあると思うけど、チーム一丸となつて頑張つてほしい。応援してます！」とエールを送った。

大会二日目のダブルスでは多くの部員がやる気

に満ち勇猛果敢に対戦した。多くのペアが一回戦を存分に発揮した。シングルスでも同様に積極的なプレイが展開された。三日目にはシングルスの試合が行われ、木村が見事北信越大会への出場権を獲得した。

大会二日目のダブルスでは多くの部員がやる気

に満ち勇猛果敢に対戦した。多くのペアが一回戦を存分に発揮した。シングルスでも同様に積極的なプレイが展開された。三日目にはシングルスの試合が行われ、木村が見事北信越大会への出場権を獲得した。

六月五日〜七日、武生東高校で春季総体バレーボール競技が行われた。一日目は予選リーグが行われ、美方高校は丹生高校と対戦した。一セット目は山中紅葉さんのサーブで始まり三点のサーブミスを取った。そのまま勢いに乗り、二十五対二で快勝した。二セット目も圧倒的な強さで勝利し、翌日の決勝トーナメントに進んだ。



気合を入れて円陣

キャプテンの澤結菜さんは「フルセットで負けてしまったのは悔しかったけど最後まで全力でプレーできて楽しかった。最後まで応



高いジャンプで全力アタック

みんなの思いをのせて



夢来さんは「今大会はチーム個人で北信越に進め、みんな悔いなく終われたと思う。新体制になって戸惑うこともあると思うが、みんなの個性を十分に発揮し、勝ち進んでほしい」と期待を寄せた。